



子育てチャンネル

森あそびのヒント 子どもの響くマジックワード探し

東川町に移住したのは2000(平成13)年。その後2008(同20)年から仕事と勉強で一度札幌に住み、また今年5月に戻ってきました。キトウシ森林公園を拠点に、大雪山自然学校を運営し、子どもの自然体験活動やエコツアーを行っています。

先日5歳と3歳の子どもを連れてキトウシ森林公園に行くといくつもの「森あそびスポット」を発見しました。子どもは遊び上手。森に放つと自分の感性で歩きまわりおもしろいモノを見つけて来ました。

木登りにちょうど良い枝ぶりの木、足元にはネズミが食べたクルミの殻、オタマジャクシにトンボの幼虫、カリカリと音がすると思えば、エソリスがクルミを割っている。これらはすべて物産センターからキトウシ高原ホテルの間を歩いて見つけることができました。

そんな子どもの動きを観察していると、子どもの発見を促す2つのコツに気づきました。

1つ目は、例えば子どもが葉っぱに興味を持ったら「それは何色?どんな形?ギザギザ?ツルツル?」と、葉っぱの詳細を聞いて深める方法。

2つ目は「どこにあった?どんな幹をしていた?同じ木はある?」とその葉っぱから木へ、木から環境へと視野を広げていく方法です。

その時のポイントには①その子に響くマジックワードを探すこと

②ズーム・イン(深める)とズーム・アウト(広げる)をすること③何回も繰り返すこと



「好きこそものの上手なれ」。つまり「その子が好きでやりたいことは、今成長に必要なこと」と考えています。

「次は何があるかな?お父さんには負けないよ!」と自ら探します。

学びのサイクルが回り始め、

子どもが自分で発見し自分で学んでいくようです。

信じて待つ「好きこそものの上手なれ」

学びのサイクルのきっかけとなるのは、「その子が好きなこと」だと思っています。

「好きこそものの上手なれ」。つまり「その子が好きでやりたいことは、今成長に必要なこと」と考えています。

「好きこそものの上手なれ」。つまり「その子が好きでやりたいことは、今成長に必要なこと」と考えています。

「好きこそものの上手なれ」。つまり「その子が好きでやりたいことは、今成長に必要なこと」と考えています。

「好きこそものの上手なれ」。つまり「その子が好きでやりたいことは、今成長に必要なこと」と考えています。

「好きこそものの上手なれ」。つまり「その子が好きでやりたいことは、今成長に必要なこと」と考えています。

をサポートするかなど、悩みます。

理想は、「失敗を見守り致命的なダメージを受けない程度にお手当てし、成功するまで待つ」ではないでしょうか。

大切なことは、成功に至るまでの過程を子どもが自分で発見し、理解し、出来るようになることですから、目の前の成功に捕われてはいけません。

とはいえ、つい手が出てしまうのですよね…。つい「こうしたら?」と言って、子どもの発見を待たずに答えを教えてしまうこともあります。

多くの先輩方がおっしゃる通り、子育てで大切なことは、子どもの成長を「信じて待つ」という大人の姿勢ですね。

成果が出るまで待てるかどうか。大人の忍耐力、信じる力が試されているような気がします。

「大雪山自然学校」

「大雪山自然学校」

「大雪山自然学校」

「大雪山自然学校」

「大雪山自然学校」

荒井 一洋